公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	姫路市立こども発達支援センター			
○保護者評価実施期間	2024年10月15日	～	2024年11月15日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○従業者評価実施期間	2024年10月15日	～	2024年11月15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	11
○訪問先施設評価実施期間	2024年10月15日	～	2024年11月15日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	3	（回答数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	２０２５年　1月１５日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者の状況や思い、訪問先のニーズに応じて、訪問する職種（保育士、心理士、PT、OT、ST）が訪問支援に携わることができる。	アセスメント訪問時に、学校園での様子だけでなく、家庭での様子、担当者の思いなど、細かく情報共有するとともに、将来を見据えた支援を、最適な職種が訪問支援できるようにする。	
2			
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が、他の業務と兼務のため、訪問時期や時間帯などタイムリーに訪問できない場合がある。	専任の訪問支援員を置くような人員配置ができていない。	市の人事課に、保育所等訪問支援事業の必要性、重要性を訴え、専任の職員の配置を要望していく。
2			